



Nutrition Support Times



栄養資器材ワーキンググループ、活動しています。

みなさん、NST のリンク Dr.制度というのがあった事をご存知ですか？実は各科に NST リンク Dr.というかかりが決まっています、各科と協力して栄養療法を進めていくことになっていました。・・・数年前までは。

前チェアマンのときから、ごくごく一部のリンク Dr.しか会議に集まらない状態がつづいていたため、一度ワーキングの呼びかけなども中止しました。とりあえず NST 内部でがんばり、その上で必要なときは個別に声をかけていくようにしました。

そして、そろそろ新病院に向けて、資器材、および経腸栄養剤を再検討する必要が出てきました。そのため、とりあえず胃管、中心静脈カテーテルをよく使用する科に声かけを行ない、検討を開始しました。具体的に検討しているものは、ED チューブ(8-10Fr の経

鼻胃管)および中心静脈カテーテルです。

ED チューブは柔らかいものをとりあえず 2 種類取り寄せました。もちろんガイドワイヤーがはいっているので、挿入時には問題ありません。一つは安いが前との使い勝手がほとんど変わらないもの、もう一つのタイプのものは、先端がかなり柔らかくなっており、また注入孔がおおきく、詰まりにくいとの事です。

中心静脈カテーテルはまだサンプル取り寄せ中ですが、穿刺針がほそく、かつガイドワイヤーを装着した状態で穿刺できるので、患者さんの苦痛も少なく、スムーズに穿刺できると考えています。

いずれ皆さんの前でサンプル品が出てくるものと思います。よろしくお願いします。



NCM 講演会予定



月日	内容	担当
8/26	経腸栄養	東別府先生
10/28	経静脈栄養	薬剤師
11/25	肝障害と栄養	未定
H23/1/27	腎障害と栄養	未定
3/24	PEG について	未定

NST カンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00～ 8 北(861)NST カンファレンスルーム



神戸スワローズ

7月24日第3回神戸スワローズを開催しました。今回は各施設の方々と身近になれること、連携が取れやすくなることを期待して座談会というものを設けてみました。初めはどうなることかと思いきや、いろいろなお話ができて有意義だったというご意見をいただきました。課題の嚥下食の標準化などはワーキンググループをつくって取り組むなど、荒木先生の提案もありメールでネットワーク作りをすることになりました。少しずつではありますが、地域の摂食嚥下の連携がスムーズにまた切れ目のない治療の確立に前進していきたいと思えます。



あっぱれ！試飲会

第4回になりました経腸栄養剤試飲会。今年最高級の200名を超える方々に参加していただき、本当にありがとうございました。院内の職員全員が経腸栄養剤を試飲して、その味をその種類を知っていただき、少しでも栄養管理について考えてもらえれば、患者さんの予後の改善、病院のコストの削減、職員の手間の改善など多くのことが見えてくるのがわかってもらえると思います。また、このような催しを通じて院内全体のまとまりができ、病院が患者さんのためという目標をもって、全員ですすんでいるんだということを実感できる機会はほとんどありません。これからみんなの力で病院をもりあげていけるように、NSTは努力していきますのでみなさんご協力お願いします。



編集後記

炎天下の中甲子園では高校野球が連日開催され、若者たちが自分のすべてをだしきり、思い切ったプレーを見せてくれています。私はのめりこんで、その1球1プレーに感動し忘れそうなものを熱く思いだすのです。野球は個人では勝てないチームプレーだということです。病院でも4番ピッチャー優秀な医師だけではいい治療はできないはず。私は三振してもエラーしても、盗塁に失敗しても、精一杯がんばるので、補欠でもいいからこのチームで燃え尽きるまでやりたいなあ。